

講義科目 : 社会福祉援助技術現場実習 I 担 当 : 長友薫輝、北村香織、武田誠一	単位数 : 3 学習形態 : 自由選択科目 社会福祉士必修科目 * 第1学年で履修
---	--

#### 講義の内容・方法および到達目標

本科目は、実習科目である。社会福祉施設や機関の役割を実際的に理解するとともに、社会福祉専門職の役割や業務の実際を学ぶ。

実習においては自己の課題をもって臨み、現場での職員や利用者との関わり等から問題意識を深め、援助技術の習得を目指す。

#### 授業計画

- ・実習機関における実習。
- ・実習期間中には教員による巡回指導を行い、必要時には大学にて個別指導を行う。

#### 【現場実習において学ぶこと】

- ①実践能力を養う 学校で学んできたソーシャルワーク実践に必要な知識と技術を使い、社会福祉士としての価値と倫理に基づいて支援を行うための実践能力を養う。
- ②利用者やその関係者と援助関係を構築する 援助関係の構築のために、利用者、家族との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成に努める。また、施設、事業者、機関、団体とも円滑に関係が作れるよう努める。
- ③利用者のニーズを理解する 利用者との積極的なコミュニケーションの中から、利用者は今何を望んでいるのか、ということをくみ取る。また、利用者や地域の状況を理解できるように努め、その生活上のニーズを把握し、社会資源の活用・調整・開発も含めた支援計画を作成する。
- ④施設・事業者・団体の経営、サービスの運営管理の実際について理解する
- ⑤多職種連携及びチームアプローチを実践的に理解する まずは、施設内でのチームアプローチに着目した上で、様々な職種の特徴を知り、家族を含めた利用者支援に必要なアプローチ方法を知る。
- ⑥実習先が地域社会の中で果たす役割を理解し、具体的な地域への働きかけ方について学ぶ。

#### 教材・テキスト・参考文献等

使用せず

#### 成績評価方法

配属先実習施設での実習評価（70％）、実習ノート・巡回指導時の状況等（30％）をあわせて総合的に評価する。